

口腔機能リハビリテーション科

医局紹介

診療科長代理: 榎 宏太郎
 診療科長補佐: 伊原 良明



口腔機能リハビリテーション科スタッフ

診療体制

常勤スタッフ: 歯科医師13名と言語聴覚士2名

その他スタッフ: 非常勤講師の歯科医師9名と筋機能療法担当者1名

臨床研修歯科医の皆さんにとって充実した研修になるよう、
 指導にあたっています。

2024年度前期研修医4名
 2024年度後期研修医4名



研修の特色

当科は、摂食嚥下障害、言語障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群およびその他の口腔機能障害や異常習癖など口腔顎顔面の機能障害の診断、治療を行っています。

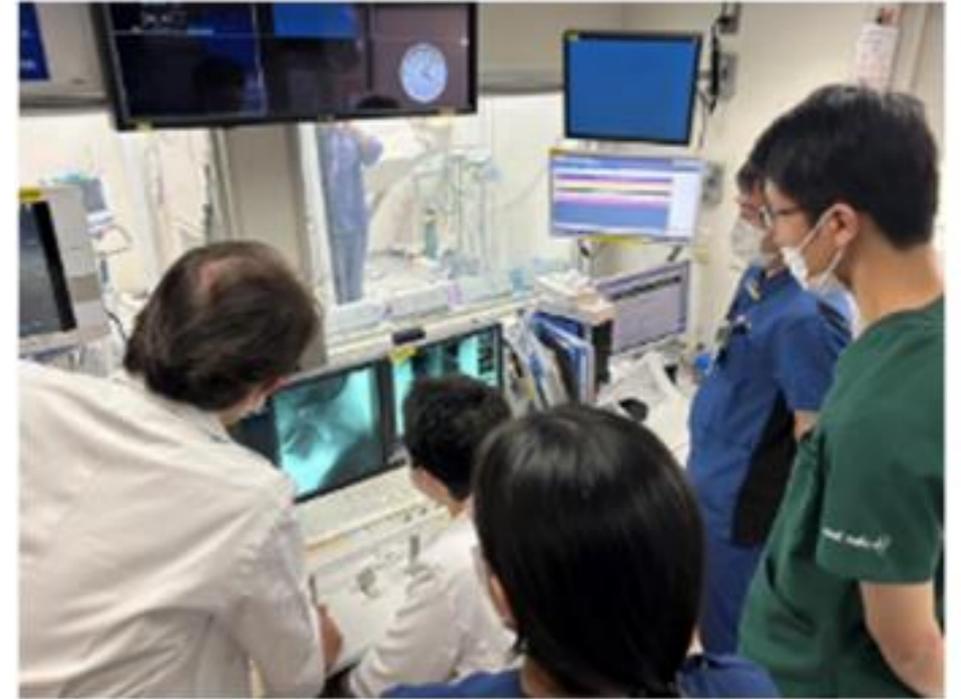
研修では、

- ・摂食嚥下障害に対する検査および治療（外来、訪問、入院を含む）
- ・言語障害に対する機能改善装置の作製
- ・閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群に対する口腔内装置の作製
- ・頭頸部癌患者に対する術前から術後までの機能障害に対しての介入を中心に行います。

特徴としては、摂食嚥下障害から言語障害まで様々な口腔の機能障害に幅広く対応できること、言語聴覚士、歯科衛生士などの専門スタッフと歯科医師がいつでも一緒にチームとして診療する体制が整っている点です。

研修体制

摂食嚥下障害の患者さんには既存の各種機能評価装置や検査時状況画像・呼吸音と嚥下音・嚥下機能検査画像の同時記録システムなどを用いて正確な診断を行い、機能訓練法、機能改善装置などを用いて高度な専門診療を行っています。



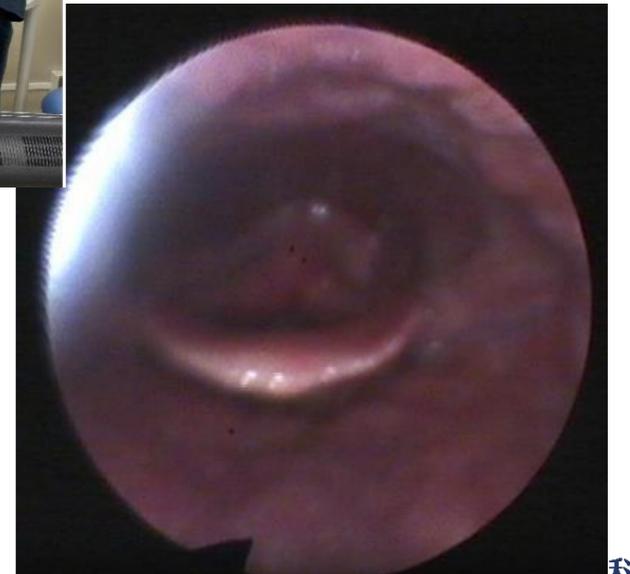
附属病院における多職種と連携している検査の様子

当院内科クリニックとの連携をはじめとし、本学医学部附属病院各科、他大学病院、癌専門病院、地区歯科医師会とも積極的に連携を行っています。

→大学病院ならではの専門的な治療を経験できます。
多施設、多職種との連携を学ぶことができます。

嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査

検査の準備から評価までを実際に行っていただきます。
また、この評価を踏まえて訓練の指導もしていただきます。



言語訓練

言語聴覚士と協力し構音障害などに対する診断、訓練、補綴装置の作製を行っており、研修を通じて言語訓練に対する知識、技能を習得していただきます。



睡眠時無呼吸症候群

睡眠歯科センターは、2021年4月に新たに開設された専門外来で、内科クリニック、補綴歯科、顎関節治療科、口腔機能リハビリテーション科で構成されています。睡眠時無呼吸症候群の診断および治療、睡眠時ブラキシズムの診断および治療を行っています。

当科では、閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する歯科的な治療法である口腔内装置の作製、調整について研修を通じて学んでいただきます。



当科での研修を
是非お待ちしております！！